

障害者支援施設 光風園

1 施設を取り巻く現状と課題

出雲市の人口は、17万人台を推移しているが、障がいを持つ人は、10年前と比較し、身体障害者手帳所持者は減少傾向、療育手帳保持者はおよそ1.3倍、精神障害者保健福祉手帳保持者はおよそ2倍と増加している。第7期出雲市障がい福祉計画では、その実態を踏まえて基本方針として相談支援体制の強化・充実と共生社会実現の取組を掲げている。

相談支援については、令和3年4月から「出雲市地域生活支援拠点整備事業」（以下「ささえ愛サポート」という。）として、地域の福祉サービスの機能を活用し面的整備に取り組んできた。令和7年4月からは相談支援の中核的な機関として「出雲市障がい者基幹相談支援センター」を開設し、さらに、市独自の重層的な相談支援体制について令和8年度末までに検討することになっている。その動向を注視するとともに、より障がいの多様化や複雑化するニーズを踏まえ、施設の相談支援体制のあり方を検討していく。

施設入所については、入所施設としての強みである24時間365日人と場所が提供できることや長年培った重度障がい者支援の専門的知識や技術を活かし共生社会実現に向けての役割を果たしていく。

まずは、生活の場の質を保障できるように入所者の居室は個室化し、プライバシーへの配慮や障がい特性に応じた生活環境を整備する。あわせて、地域で生活する障がい者に対しての地域生活を支えるセーフティネットとして、日常から積極的に関わることで緊急時の受入れに対して貢献していく。

次に、多様化するニーズに対し受け入れができるよう職員の学ぶ機会を充実させることでより支援機能について専門性の向上を図る。

グループホームについては、令和7年4月から新しいグループホームを開設し、生活環境は整った。利用者の意思や希望に基づいて施設から地域への移行を検討するとともに、今後は、これまで以上に支援が必要な障がい者が入居することが予測されるため、柔軟な支援体制を検討し構築していく。

また、コロナ禍以降、途絶えていた行事等は徐々に復活している。地域から必要とされる施設であるために、積極的に地域に出向きながら、地域を巻き込んだ行事の実施や長年培った専門性を活かし教育機関等との関わりを再構築する。

最後に、質の高いサービスを提供する上では、必要な職員数が確保されていることが必須である。職員の力を借りながら人材確保に努め、職員がやりがいや働きがいを持ちながら働ける職場環境を整えていく。

2 施設の実施策と取組の方向性

(1) 利用者一人ひとりの生活を支えるサービスの質の向上

ア 個別ニーズに応じた専門的なケアの充実で、個々の利用者 QOL を高める。

実施施策	総合的な支援力の向上
現状と課題	行動障がい支援や介護技術の向上には様々な取組を行っているが、部署ごとの取組に留まるところがある。園全体への波及を図る必要がある。
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ① 検討チームを立ち上げ、定期的に事例検討や情報共有を図り、全体の支援スキルを向上させる。 ② 研修情報の提供の仕方や施設内研修のあり方を検討し、今後の施設内研修の実施方法や管理方法等を再構築する。

実施施策	利用者の将来展望に応じた支援の推進
現状と課題	個別支援を推進しているが、個々の利用者の将来的な希望等を十分に把握できていないケースも少なからずある。改めて個別のニーズを聞き取り、意思決定支援を進めていく必要がある。
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域移行等意向確認等に関する指針に基づく地域移行等意向確認担当者を中心に指針内容について理解し、意思決定支援について積極的に推進する。 ② 利用者個々のニーズを改めて把握するため、意思決定について個別の意向調査を行う。 ③ 個別支援会議を含めた意思決定支援会議が定着し、より具体的な利用者の意思や希望を反映した支援を実践する。

イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者の満足度を高める。

実施施策	施設内の生活環境の改善
現状と課題	築 20 余年が経過しているが、利用者の状態像や支援体制の変化により生活環境における課題が増してきている。個室化は達成されているが、中・長期的な視点をもった環境の改善が必要。
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ① はまなす棟男性側居住スペースの狭小さや設備の老朽化に対して検討を行い、順次必要な改修を進める。 ② 訓練棟の冷房設備の導入を検討し、夏季の機能訓練や行事開催を可能なものとする。また、災害時等の避難場所としての機能を強化する。 ③ グループホームについては今後施設入所からの地域移行先として機能するべく、更なる職員体制の検討や業務改善を進める。

実施施策	BCP の理解と実践
現状と課題	施設等で新型コロナウイルスの集団感染があり、対応するマニュアル等は整備されているが、職員の入れ替えや穏やかな日常が続くと危機管理意識は薄れていく。常日頃からコロナ・インフルエンザウイルス等感染症の発生や、地震等の自然災害を想定して危機管理意識を高め有事に備える。
取組の方向性	① 利用者の安全確保と生活支援の継続を最優先とし、BCM として日頃から BCP の訓練と見直しを行うことで、緊急時にも適切に対応できるよう平時から備える体制を構築する。

ウ テクノロジーを活用した根拠のあるケアの提供で、サービスの質を高める。

実施施策	AI や支援向上につながるアプリ等の導入による、業務改善並びに利用者サービスの質の向上
現状と課題	AI をはじめとする IT 機器が目覚ましい進歩を遂げているが、現状の業務において活用されている事例は少ない。積極的に情報を集め、有用な機器の導入・活用を推進する必要がある。
取組の方向性	① AI については運用の方針を明らかにし、活用可能な文書作成等に利用することで業務効率化を進める。 ② 支援に活用可能なアプリや会話支援機器、web 研修動画の活用等について検討・導入することで利用者サービスを向上させる。 ③ 利用者が直接 IT 環境を活用できるような取組を検討する。

(2) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 採用ブランディングの強化と多様な人材活用で、優秀な人材を獲得する。

実施施策	口コミ採用による人材確保
現状と課題	「職員を元気に」を標榜して職場環境の改善に取り組んでいることもあり、近年口コミから多くの職員採用につながった。今後も多様な働き方を推進することで、働きやすさを更に向上していく必要がある。
取組の方向性	① 管理職による個別面談を定期的実施することで、職員個々の家庭環境や健康状態等に配慮した勤務形態や職員配置を柔軟に行う。 ② 採用情報の広報には既存職員のネットワークを最大限活用するほか、SNS 等についても有効な活用方法を検討する。

実施施策	福祉事業所としての更なる価値向上
現状と課題	重度障がい者支援については、強度行動障がい（児）者処遇支援体制

	整備事業によりブランディングされているが、現場の意識としては更なる向上が必要と捉えており、高いレベルでの支援力向上を図ることにより、福祉事業所としての価値を更に高めていく必要がある。
取組の方向性	① 重度障がい者支援については、強度行動障がい（児）者処遇支援体制整備事業を軸として、関係機関との支援連携や研修協力等の拡大を進めることで、支援スキルと知名度の更なる向上を図り、人材獲得にもつなげていく。

イ キャリア形成の仕組みを整え、職員が成長を実感できることで個々のモチベーションを高める。

実施施策	職場内OJTの対象拡大による職員個々の成長やチーム力の向上
現状と課題	正規雇用の支援課職員についてはOJTを実施しているが、その他の職員についてはOJT制度が無いため、個々の成長や目標を意識する場面は限られている。全職員が自身の成長や目的意識、チーム支援について考え、取り組む機会が必要である。
取組の方向性	① 職種や雇用形態に応じた形で全職員がOJTを実施し、成長意欲やモチベーションの向上を図る。併せてチームケアの範囲を拡張する。

実施施策	障がい者支援及び高齢者介護技術のスキルの向上
現状と課題	職員により支援・介護技術のレベルに違いがあり、平準的サービスを提供することに支障を生じるケースがある。各職員の経験や経歴、職種に応じた内容の研修を段階的に行うことで、全体のスキル向上を図る必要がある。
取組の方向性	① 行動障がい支援検討チームや中核的職員を中心として、障がい者支援についての研修や事例検討を段階的、定期的で開催することにより、個別のスキルアップ及びモチベーションの向上につなげる。 ② 介護技術向上検討チームや中核的職員を中心として、高齢者介護についての研修や事例検討を段階的、定期的で開催することにより、個別のスキルアップ及びモチベーションの向上につなげる。

ウ 風通しの良い職場風土づくりで、健康的で働きやすい職場環境を構築する。

実施施策	職場内体験交流を通じた、他部署・多職種間の連携強化
現状と課題	部署間の交流が少なく、協働や情報共有の意識が十分とは言えない環境にある。チーフ会や部署間交流等により連携の取組を進めているところだが、更に取組を加速する必要がある。
取組の方向性	① 部署間交流体験を計画的に実施することで、互いの部署の取組や考

	<p>え方を知り、協業・連携強化を進める。</p> <p>② 多職種が話し合える機会を定期的を持つことで、互いの業務を理解し相互にサポートし合える体制を構築する。</p>
--	---

実施施策	理念の浸透と実践の推進
現状と課題	光風園の理念である「十人十色 あなた色の花を咲かせましょう～きぼうの光とやさしい風の中で」の浸透に取り組んできたが、理念に沿った実践の取組を加速していく必要がある。
取組の方向性	<p>① 理念浸透研修を定期的開催し、具体的な指針や行動目標を基にした実践について検討・対話する機会を持つ。</p> <p>② 管理職の持つ想いを積極的に発信すると同時に、職員との対話の機会を増やすことで、理念の共有と実践を更に進める。</p>

エ ICTの活用で業務の生産性を高め、職員の多様な働き方を実現する。

実施施策	ICTの積極導入による業務の効率化と職員負担の軽減
現状と課題	園内のWi-Fi環境は整いつつあるが、有効な活用方法について決定していない。記録ソフトの更新に併せてタブレットやスマホ、インカム、見守り機器の導入について検討し、必要な機器を取り入れることで生産性の向上と職員負担の軽減を図る。
取組の方向性	<p>① ICTの導入については法人の方針に則りつつも、サービス向上委員会を中心にして光風園で必要とされる機器の調査・検討を進め、導入を図る。</p> <p>② タブレットや音声入力機器については、業務負担の軽減に欠かせない機器として、早急な導入を検討する。</p> <p>③ 導入した機器については導入の経緯や望まれる効果を共有した上で操作研修を行い、広く活用を進める。また、一定期間の検証・評価を行い、有効な活用方法を検討する。</p>

(3) 地域との共生と安定した経営基盤の確立

ア 地域の関係機関との連携を深め、地域の中で果たすべき役割を明確にする。

実施施策	地域との連携強化と社会資源としての地域貢献
現状と課題	コロナ禍から脱したことで地域との連携は回復してきているが、社会資源としての役割を果たすためには、更なる連携や協力が不可欠となる。地域住民との協働や、学校機関との連携を拡大していく必要がある。
取組の方向性	① 地域連絡推進協議会を起点とし、地元自治会とのイベント協働や交流、地域貢献活動を積極的に進めていく。

	② 地元小中学校との交流にあたり福祉学習を盛り込むことで、障がいや施設に対する理解を広めていく。
--	--

実施施策	相談支援体制の充実による利用者サービスの向上
現状と課題	出雲市における相談支援体制については再構築が図られている所だが、光風園においてもそれらに対応した体制を再検討する必要がある。事業所の役割を明確にし、利用者サービスの向上につなげるため安定的な体制を構築する必要がある。
取組の方向性	① 出雲市の新たな相談支援体制を注視しながら、光風園の役割を明確化して職員配置等も含めた体制の充実を検討、実施する。 ② 短期入所受入れについては他法人の相談支援事業所等とも連携し緊急短期受入事業である「ささえ愛サポート」からの利用を推進し、セーフティネットの役割を果たしていく。

イ 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	通所生活介護の利用拡大
現状と課題	施設入所は個室化により新規受入体制の整備が進んだが、将来的には現定員を維持していく事は、高齢化による退所や待機者の状況を鑑みると難しいことが予測される。安定経営には通所生活介護の事業拡大は必須の課題となる。
取組の方向性	① 通所生活介護が選ばれる事業所であるため活動コンテンツの充実や支援スキルの向上を図るとともに、活動スペースについて新築や既存設備の活用も含めて検討し、継続的な利用者の確保につなげる。 ② 出雲養護学校をはじめ、関係機関との連携を更に深めることで安定的な利用者確保を図る。

実施施策	物品の購入・管理のルール化による効率的な予算執行
現状と課題	物品の購入には都度精査・検討を行っているが価格高騰の折、価格や効果、使用頻度などを改めて検討した上で購入の可否を決定する必要がある。また在庫管理についても物品によりまちまちであるため、管理ルールの明確化と徹底が求められる。
取組の方向性	① 主要な日用品の使用頻度を調査し、数量や価格の削減又は物品の変更を検討する。 ② 在庫管理については部署管理から全体集中管理の体制に変更を行うなど管理方法やルールを明確にし、無駄な支出を削減する。

ウ 中長期的な視点をもった事業運営で、経営の持続性・透明性を高める。

実施施策	多様な障がいに対応する施設機能の強化
現状と課題	出雲市圏域において福祉事業所の充足は進んでいるが、強度行動障がい等に対応した事業所は限られている。このことから光風園の将来に渡る役割は明確である。光風園に求められるニーズを踏まえた上で支援体制の再編や設備の改修等について継続的に検討を重ね、逐次整備を進める必要がある。
取組の方向性	<ol style="list-style-type: none"> ① 支援体制検討委員会を起点とし、中長期的な利用者ニーズに適合した支援体制の検討を行い、逐次適切な支援体制に改めていく。 ② 本体施設については耐用年数を50年越と見立て、中長期的な利用者像を想定した大規模修繕や増改築等も視野に検討を重ねる。

実施施策	調理業務の効率化と食の満足度の向上
現状と課題	利用者の食志向の多様化や特別食の増加等により業務負担が拡大しているが職員の確保が困難な状況が続いている上、食材費等の高騰等により食事提供全般に困難な課題が増えている。利用者の楽しみである食の満足度を高めることは支援技術向上と並ぶサービスの根幹であるため、厨房業務を見直し業務を効率化することで食の満足度を高めていく必要がある。
取組の方向性	<ol style="list-style-type: none"> ① 厨房業務を精査した上で調理システムの改善や変更についての検討を進め、業務の効率化を図る。 ② 厨房業務の負担軽減と並行し、雇用の安定・継続を図るため勤務時間や厨房内環境等について改善を検討する。 ③ 食の満足度向上は常に取り組むべき課題であるため、業務効率化による余力を持って、継続的に検討しながら向上を図る。

3 目標利用率

事業名	定員	R7 年度 見込値	目標値				
			R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
施設入所支援	68 名	92.6%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%
生活介護	105 名	94.3%	97.7%	97.7%	97.7%	97.7%	97.7%
(単位 1)	67 名	93.8%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%
(単位 2)	38 名	95.2%	98%	98%	98%	98%	98%
短期入所	4 名	43.4%	50%	50%	50%	50%	50%
共同生活援助	21 名	91.7%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
相談支援(計画作成件数)	-	11 件/月	11 件/月	11 件/月	11 件/月	11 件/月	11 件/月
相談支援(モニタリング件数)	-	20 件/月	22 件/月	22 件/月	22 件/月	22 件/月	22 件/月

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

名称	執行見込額				
	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
業務用洗濯機更新 1 台	1,782				
スポットクーラー 2 台(訓練棟)	569				
マルチフレッシュ 1 台	5,076				
屋上給湯器更新 1 台	249	249	249	249	249
自動火災報知機設備(作業訓練棟)更新	1,540				
施設サーバー	833				
公用車(送迎用)更新	2,720				
厨房シンク更新		588			
自動火災報知設備受信機更新(本体事務所)		3,190			
公用車(軽トラック)更新		1,422			
K1 男子ユニットバス設置工事		5,335			
ガス式乾燥機(洗濯棟)更新			1,298		
ライスミニ更新			255		
自動炊飯器更新			511		
公用車(送迎用)更新			3,424		
浴室用介護リフト(はつらつ棟)				1,014	
業務用横型冷蔵庫更新(厨房)				478	
床走行リフト					528
介護浴槽更新					6,521

介護浴槽用搬送車更新					2,640
温冷配膳車更新 1台					2,898
管理棟トイレ洋式化工事(3台)	867	867	867		

5 修繕計画（大規模修繕を除く。）

(単位：千円)

名称	執行見込額				
	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
LPG 遮断弁/コントローラー取替	363				
非常灯更新工事	2,189				
はまなす男子棟廊下壁修繕	367				
太陽熱交換機漏水補修工事	426				
いこいの家網戸取付	162				
K2 女子給湯配管漏水対策	603				
居室個室化工事	472				
グループホームしおさい現状復旧工事	1,164				
浄化槽微細目スクリーン取替		656			
浄化槽開口蓋取替		344			
訓練棟渡り廊下雨風除け修繕		1,529			
浄化槽放流ポンプ2台取替		154			
浄化槽ばっ気・調整用フロア取替			1,705		
浄化槽中継ポンプ槽し渣ゲート設置				1,540	
ハーモニー棟女子側間仕切り壁設置工事				352	
LPG 調整器交換					682
管理棟トイレ改装					198
各所洗面器排水管修繕					1,617

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

名称	執行見込額				
	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
屋根防水シート更新、屋根・外壁塗装工事			65,000		
照明器具 LED 化工事			127,083		